

6

RFIDを用いたマラソン大会練習支援システム
後システムの検討

〒100-8305 東京都千代田区千代田 1-10-1
東京工業大学 情報理工学研究所
藤原 直也

RFIDを用いたマラソン大会練習支援システム

本システムは、マラソン大会の練習支援を目的として、RFIDを用いた練習支援システムを開発しました。本システムは、練習者の位置情報をリアルタイムで取得し、練習コースの管理や、練習者の健康管理をサポートします。また、練習者の練習履歴を記録し、練習者の練習状況を把握することができます。本システムは、練習者の練習支援に大きく貢献するものと期待されています。



一昨年度までのシステムの問題

- ・RFIDを用いた練習支援システムがなかったことによる練習者の位置情報の取得が困難であったこと。
- ・練習コースの管理が手作業で行われていたことによる作業量の増加。
- ・練習者の健康管理が手作業で行われていたことによる作業量の増加。
- ・練習者の練習履歴の記録が手作業で行われていたことによる作業量の増加。



改善結果

- ・練習者の位置情報の取得が容易になったことによる練習支援の向上。
- ・練習コースの管理が自動化されたことによる作業量の削減。
- ・練習者の健康管理が自動化されたことによる作業量の削減。
- ・練習者の練習履歴の記録が自動化されたことによる作業量の削減。

